

# 大地

発行 千歳市農業委員会  
発行日 平成23年12月発行  
編集 千歳市農業委員会だより編集委員会



## 主な内容

## ページ

- ・ 農業委員会委員を紹介します ..... 2・3
- ・ 新たな千歳市農業振興計画が策定されました ..... 4
- ・ 農地転用と関係法令 ..... 5
- ・ エネルギー資源を考える・北のクリーン農産物表示制度 ..... 6・7
- ・ 平成23年度農業委員道内研修報告 ..... 8
- ・ 新規就農者の横顔紹介 ..... 9
- ・ 千歳市の農業者年金加入状況 ..... 10
- ・ 家族経営協定の効果とは・選挙人名簿登載申請について ..... 11
- ・ 全国農業新聞の購読について ..... 12

# 農業委員会委員を紹介します

任期満了に伴う改選により、本年7月20日から、法令業務の厳正な執行と地域農業の振興など、農業者の公的代表機関として新たな体制がスタートしました。

## 会長就任挨拶



土居 利幸  
会 長  
泉郷 選挙 4期

本年7月の総会において、3期目の会長職に就任し、大変光栄であるとともに重責を痛感しております。

今年度から本格実施された「戸別所得補償制度」や「TPP」への参加交渉への動きなど、農業を取り巻く状況は依然厳しいものがあります。また、今年は、3月の東日本大震災や台風の相次ぐ上陸により、日本各地で甚大な被害が発生しています。

このようななか、北海道農業の重要性は益々高まっており、かけがえのない農地を守り担い手の確保に努めながら、各種課題の解決に向け関係団体等と協力して活動を行ってまいりますので、より一層のご指導・ご協力をお願いいたします。

第21期農業委員会 会長 土居 利幸



明石 茂俊  
会長職務代理者  
幌加  
選挙 3期



稲田 伸  
農政小委員長  
新川  
選挙 3期



久保田 正範  
農地小委員長  
上長都・北信濃・長都  
の一部 選挙 2期



田村 正司  
火山灰・砂利採取  
特別委員長 協和  
選挙 4期



今井 俊雄  
農政小委員会

市議会選任 新任



田中 哲  
農地小委員会

市議会選任 3期



香月 正  
農地小委員会

市議会選任 新任



伊藤 ひろ子  
農政、火山灰・砂利  
採取特別委員会

道央農業協同組合  
選任 2期



**高嶋 典雄**  
農政、農地小委員会

長都・都の一部  
選挙 8期



**森 美弘**  
農地小委員会

恵庭土地改良区  
選任 3期



**正岡 敏夫**  
農政、火山灰・砂利  
採取特別委員会

釜加の一部  
選挙 2期



**高秀 政博**  
農政、火山灰・砂利  
採取特別委員会

市議会選任 新任



**細澤 伸一**  
農地小委員会  
根志越・都・北信濃  
の一部

選挙 2期



**川端 公子**  
農政、火山灰・砂利  
採取特別委員会  
駒里

選挙 3期



**菖蒲 一博**  
農地、火山灰・砂利  
採取特別委員会  
中央・根志越の一部

選挙 新任



**亀田 公博**  
農政小委員会  
石狩地区  
農業共済組合

選任 3期



**平岡 博**  
農地、火山灰・砂利  
採取特別委員会

長都・釜加の一部  
選挙 新任



**樋口 司**  
農政、火山灰・砂利  
採取特別委員会  
祝梅・根志越の一部

選挙 7期



**森本 元明**  
農政、農地小委員会

東丘  
選挙 3期

凡 例  
※掲載順は議席  
番号順  
写 真  
氏 名

所属小委員会等  
担 当 地 区  
選挙・選任委員の  
区分、期別

この度、6名の委員の皆様が退任されました。大変ありがとうございました。

選挙 松浦 武 委員、今村 隆徳 委員

市議会選任 村上 洋子 委員、佐々木 雅宏 委員、米内山 淳二 委員、神田 聖子 委員



# 新たな千歳市農業振興計画が策定されました

## 千歳市第6期総合計画（平成23年度～32年度）

千歳市では、将来都市像を「みんなで生き生き 活力創造都市」とし、これを当市の特性や資源などを生かして実現するため、この計画の基本目標の中に「活力ある産業拠点のまち」を掲げ、農林業をはじめとする産業の振興を図ることとしています。

## 千歳市農業振興計画（第3次）（平成23年度～32年度）

この計画は、千歳市第6期総合計画の農業分野における個別計画となるもので、今後、10年間に取り組む「農業の振興」、「優良農地の確保」及び「林業の振興」の3つの基本方針を示しています。

### 農業振興計画の内容

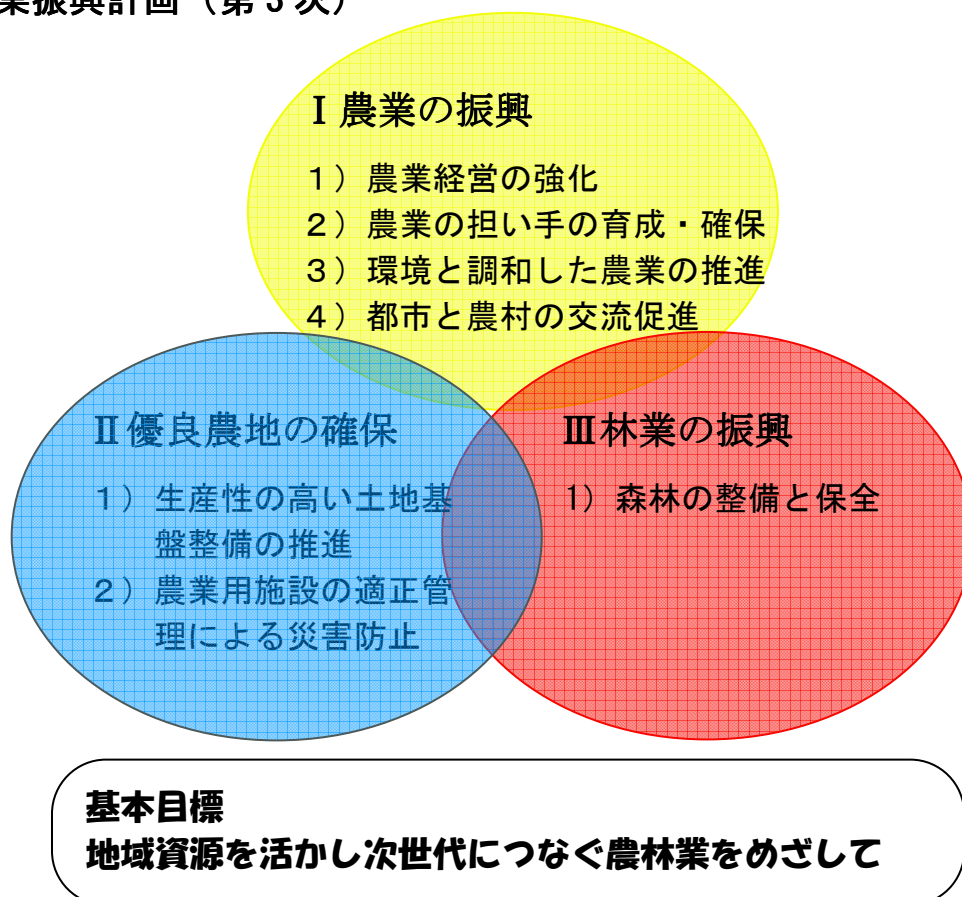
千歳市農業振興計画では、基本目標を「地域資源を活かし次世代につなぐ農林業をめざして」と掲げ、農産物のブランド化・高付加価値化の推進、地理的優位性を活かした販路の拡大と生産技術の向上を図る「農業経営の強化」、「農業の担い手の育成・確保」や「生産性の高い土地基盤整備の推進」など7つの基本方向を定め、農林業の振興を図ることとしています。

この農業振興計画は、千歳市農業振興課においてご確認いただけるほか、千歳市のホームページからも確認できます。

アドレスはこちら。<http://www.city.chitose.hokkaido.jp/index.cfm/82,44474,112,493.html>

PDFファイルをご覧いただくためには、ソフトウェア「AdobeReader」が必要です。

## 千歳市農業振興計画（第3次）



# 農地転用と関係法令

～農地に住宅や倉庫を建てる場合、どんな手続きが必要になるの？～

農地を農地以外の目的に利用する場合は、農地法に基づき農地転用手続きが必要となりますので、農業委員会事務局に相談してください。

また、関連する手続きを進めるためには、時間を要します。代表的な法律をご紹介しますので、計画がまとまりましたら出来るだけお早めに、担当部署にご相談ください。



- 1 「農業振興地域の整備に関する法律」では、農業の振興を図る地域（農業振興地域）を定めており、この農業振興地域内においては、原則、指定された用途以外の利用は出来ません。農地に住宅や倉庫等の農業用施設を建てる場合は、事前に用途区分の変更や除外の手続きなどが必要となりますので、産業振興部農業振興課に相談してください。

【連絡先 TEL：24-0610】

- 2 「都市計画法」は、市街化を抑制している「市街化調整区域」での建築行為を、原則として規制していますので、あらかじめ企画部まちづくり推進課に相談してください。

【連絡先 TEL：24-0463】



- 3 「建築基準法」は、建築物の敷地、設備、構造及び用途についての基準を定めていますので、具体的な建築内容が決まりましたら、建設部建築課に相談してください。

【連絡先 TEL：24-0751】



# エネルギー資源を考える

## 【未曾有の大震災と原発事故】

平成 23 年 3 月 11 日、東日本大震災に端を発した福島県の原子力発電所事故は、世界に大きな衝撃を与えました。事故による農産物被害は未だに収束を見せず、多くの被災者は十分な生活支援を受けられないなど、被災地の復興に向けた動きは十分とは言えない状況にあります。震災後、国民はエネルギーの省力化に取組むとともに、利活用の在り方や代替性について真剣に考えるようになったのではないのでしょうか。

## 【深刻な地球温暖化の抑止に向けて】

地球規模の環境悪化や原油価格の高騰などを背景に、バイオ燃料を普及させるための研究や開発が進んでいます。

地球温暖化の影響要因としては、「人為的な温室効果ガスの放出、とりわけ二酸化炭素やメタンの影響が大きい」ともいわれていますが、二酸化炭素排出量を削減するには、軽油・ガソリンなどの化石資源の使用量を減らし、太陽光発電などの自然エネルギーやバイオエタノールの導入を図ることが必要となります。

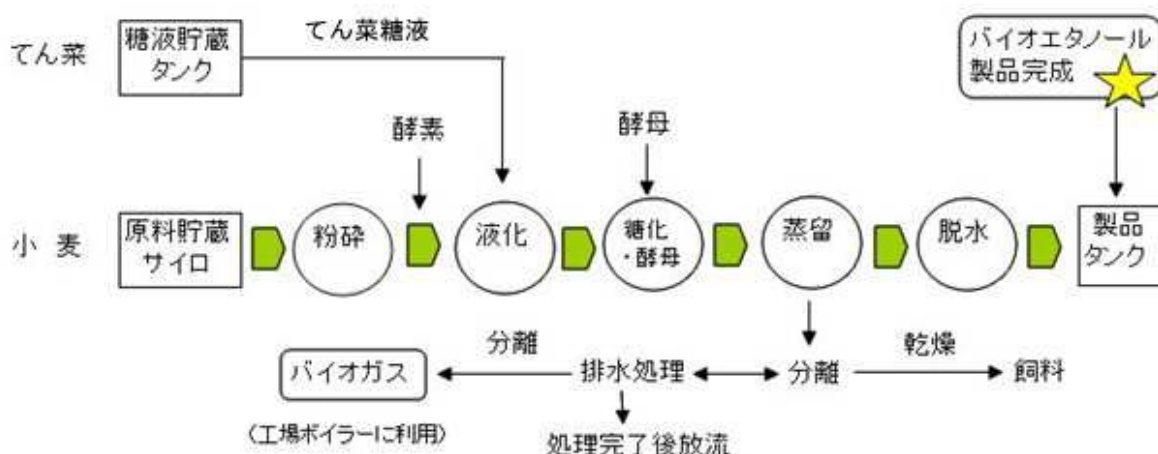
## 【バイオエタノールの特徴】

バイオエタノールは、植物の光合成により大気中の二酸化炭素が、砂糖、でん粉、セルロースなどの有機物に変換されたものを原料とするので、化石資源とは異なり何度でも再生産ができ、使用による二酸化炭素の増加はありません（カーボンニュートラル）。太陽光発電や風力発電などと比較すると、天候等による影響も少なく、液体など安定した状態で保管することが可能です。

## 【バイオエタノールができるまで】

バイオエタノールの製造方法は、お酒の作り方と似ています。

カビが分泌する酵素の働きで、てん菜や小麦などを糖化、できた糖を発酵するとエタノールと二酸化炭素に変換されます。そのエタノールを蒸留・濃縮させることでバイオエタノールが製造されます。



生成されたバイオエタノールは、石油系ガスと混ぜて安定させた ETBE「エチル・ターシャリー・ブチル・エーテル」にしたうえで、ガソリンに混合して利用します。北海道バイオエタノール(株)では、ETBE の原料として全量、バイオマス燃料供給有限責任事業組合に出荷しているとのことでした。また、蒸留後の残さは副産物処理工程において脱水・乾燥した後、飼料製品として出荷し、有効に利用されています。

### 【バイオエタノールの課題】

含エタノール燃料は、オクタン価が高くノッキングが起こりにくくなる一方、発熱量が低いことなどから、高濃度で車に利用するためにはエンジンの改良等が必要とされています。

価格は、国内生産量が少ないため、製造、流通、販売等の面でコスト高となっており、海外のバイオエタノールと比べ競争力は十分とはいえない水準にあることから、今後、普及拡大を図るうえで、効率化や生産技術の革新、政策的支援などが求められています。

また、世界的に食糧が不足する中で、限られた耕地を食料生産のために活用するのか、燃料生産に向けるのかの選択についても、検証していかなければなりません。

# 北のクリーン農産物表示制度

### 【制度の趣旨】

北海道では、平成3年度からクリーン農業を推進し、クリーン農業技術の開発及びこれらの技術を生かした産地づくりを進めてきましたが、消費者の安全性志向が高まり、国等でも種々の表示制度の整備がなされてきています。また、流通・販売面において一定基準内で生産したクリーン農産物が、産地の拡大推進にも欠かせなくなったことなどから、北海道で生産されたクリーン農産物に対する理解と信頼を一層得るため、クリーン農業技術を導入した農産物に「YES!clean」マークを表示し、詳しい栽培情報をお知らせするものです。



北海道安心ラベル

### 【生産者の3つの取組み】

この「YES!clean」マークの使用にあたっては、農業者が集団を作って、農業団体や行政機関、経済・流通・消費者団体等で構成する「北海道クリーン農業推進協議会」に登録しなければなりません。現在、米、野菜、果樹などに延べ481集団が登録しており、全道の生産者集団によって、次の3つの取組みが実践されています。

#### 1 健康な土づくり

作物を健康に育てるため、たい肥等の有機物投入による土壌改善を図り、土壌診断に基づき適正量の施肥を行うなど、健康な土づくりに取り組む。



#### 2 化学肥料の低減

化学肥料による環境負荷を軽減するため、肥料が作物に効率的に吸収される技術を使ったり、たい肥や有機質肥料を使用するなど、化学肥料の使用低減に取り組む。



#### 3 化学合成農薬の低減

化学合成農薬による環境負荷を軽減することや、より安全な農産物を生産するため、化学合成農薬に依存しない防除方法の導入、病虫害の密度を抑制する技術など、化学合成農薬の使用低減に取り組む。



### 【費用対効果】

環境に配慮して合理的な施肥管理・土壌管理を推進する本制度は、行政の協力のもと制度の導入を図りやすく、肥料コストなどの適正化を図り、消費者などからの信頼を高めるなどの経済効果があり、電子商取引の普及と共に電子商店街などでも徐々に取扱量が増加するなど、新たな流通形態として広がりを見せています。



イエスクリーンで検索すると…

# 平成23年度農業委員道内研修報告

農業委員 樋口 司

平成23年度の研修は、8月18日～8月19日（1泊2日）の日程で、農業委員15名と事務局2名の計17名により道内研修を行っております。

初日は、十勝清水にある北海道バイオエタノール(株)十勝清水工場を訪問しました。

この工場は、平成19年にバイオマス資源を活用しバイオエタノールを製造販売することにより、農業基盤の強化・活性化を図るとともに、地球環境負荷の低減、新規需要の開発、農業・農村の活性化などを目的に設立されております。

余剰農産物、規格外小麦等を原料として、1日あたり50キリットル、年間300日操業で15,000キリットル（純度99.5%以上）を生産しています。小麦が2年続けて不作のため、現在はMA（ミニマム・アクセス）米を原料として利用しているそうです。

1リットル90円前後で推移している海外からの輸入品との競争を背景に、当初、1リットル当たりの製造コストを価格競争力のある100円程度と試算しておりましたが、実際は140円～160円程度かかり、事業は採算ベースに乗らないとのことですが、設立の目的である北海道農業の活性化、地球温暖化防止に貢献するため努力しているとのことでした。



（北海道バイオエタノール(株) 研修の様子）



二日目は、中札内農協の農産物加工処理施設を見学しました。

第五の作物として脚光を浴びてきた大豆枝豆に着目し、収穫時の鮮度のまま加工する付加価値を付けた「そのままえだ豆」の商品を開発、中札内村特産品としてブランド化に力を入れていると、山本組合長から説明を受けております。

過去の販売状況に合わせて毎年1月に作付面積を決定し、収穫時期が重複しないように5月1日～6月5日に作付日を割り当てるそうです。5月15日から1週間程度の作付が最適で、収量に差が生じることから、毎年ローテーションを組んで調整しているそうです。

ホクレンに頼らない自主販路の開拓を行うとともに、いかなる取引でも300g当たり187円の価格を堅持しておられるとのことでした。

組合員170戸、平均経営面積41ha、経営者平均42歳と非常に若く、後継者問題、農村花嫁問題の心配はなく、今まで農協合併の話は一度もなかったそうです。

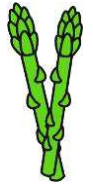
地域特産品のブランド化に対する熱意を感じるとともに、千歳市でも特産品のブランド化が急務であることを痛感させられました。



# 新規就農者の横顔紹介

(五十音順)

- ① 氏名 大川 聖士 (おおかわ さとし)
- ② 出身地 青森県青森市
- ③ 就農時期 平成 23 年 4 月
- ④ 耕作地 千歳市釜加
- ⑤ 経営内容・規模 5.5ha (施設園芸+畑作+野菜)
- ⑥ 営農の感想等 北海道に来て 8 年目にして、ようやく就農することができました。アスパラのハウス栽培を中心に営農していきたいと思っています。大変ですが、充実した毎日です。頑張ります。



- ① 氏名 北村 かおる (きたむら かおる)、北村 進 (きたむらすすむ)、  
渋谷 美代 (しぶや みよ)
- ② 出身地 石狩郡当別町
- ③ 就農時期 平成 23 年 5 月
- ④ 耕作地 駒里
- ⑤ 経営内容・規模 19.5a (野菜)
- ⑥ 営農の感想等 人生のラストステージとして、農業を始めました。周囲の方々に応援とご指導をいただき、少し土に慣れることができました。自家栽培した野菜を、お店で使いこなすよう努力したいと思っています。



- ① 氏名 國母 和宏 (こくぼ かずひろ)
- ② 出身地 石狩市
- ③ 就農時期 平成 23 年 4 月
- ④ 耕作地 駒里
- ⑤ 経営内容・規模 10.29a (野菜)
- ⑥ 営農の感想等 4 月に引っ越してきたばかりで、まだまだわからないことだらけですが、試行錯誤で子育てのように作物を作りたいと思っています。いずれは、家族で自給自足をしながら、のんびりライフを楽しみたいです。どうぞ、よろしく願いいたします。



- ① 氏名 千歳山三ファーム株式会社  
代表取締役 渡部 順大 (わたなべ よりひろ)
- ② 出身地 千歳市
- ③ 就農時期 平成 23 年 4 月
- ④ 耕作地 釜加
- ⑤ 経営内容・規模 14.6ha (畑作+露地野菜)
- ⑥ 営農の感想等 4 月から農業生産法人として営農することになりました。農業は初めての経験で、戸惑うことばかりですが、日々頑張っています。



# 千歳市の農業者年金加入状況

千歳市の農業者年金の加入状況について、ご紹介します。

平成 22 年度末における加入者数（掛金を払っている人数）は 134 人で、新規加入者数は 8 人となっています。また、この 5 年間の新規加入者実績の合計は 59 人で、石狩管内では、当別町の 63 人に次ぎ 2 番目となっており、着実に加入者が増えています。

23 年度 10 月末現在、既に 10 人の方が新規に加入しており、このうち 8 人は女性で、女性の加入者が増加している傾向にあります。

農業委員会委員と道央農業協同組合による年金加入推進班を組織し、毎年 12 月から 2 月にかけて、個別訪問などの活動を行っていますが、手続きは随時行うことができますので、加入を希望される方は、道央農業協同組合または農業委員会事務局へお問合せください。

〔農業者年金の加入要件〕

- ・ 20 歳以上 60 歳未満であること
- ・ 国民年金第 1 号被保険者であること  
（保険料の免除を受けていないこと）
- ・ 農作業に年間 60 日以上従事していること（農業法人の従業員も可）

## 農業者年金に 加入しませんか

道央農業協同組合千歳営農センター  
営農振興課 齊藤 一恵 さん



道央農業協同組合千歳営農センターで農業者年金を担当している齊藤です。

農業者年金は、積立方式なので、現在のような少子高齢化社会には安心な制度です。

また、掛金は、確定申告時に所得控除の対象となり、節税に役立ちます。

関心のある方は、ぜひ、お問合せください。

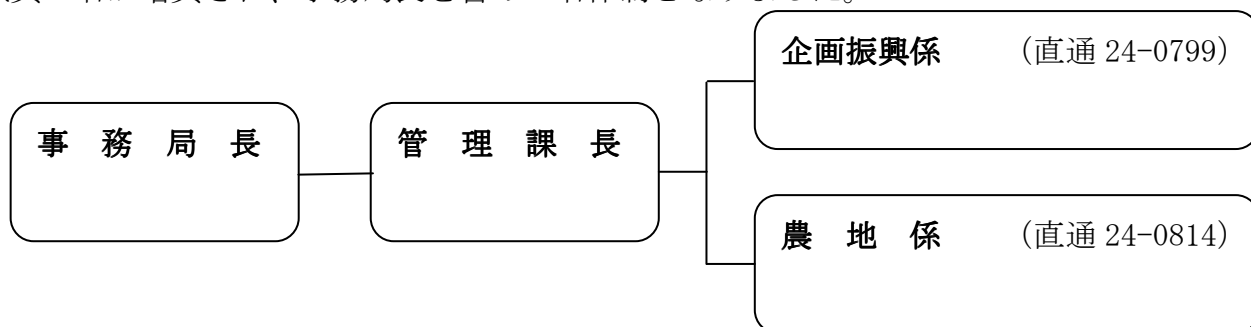
### 【お問合せ先】

道央農業協同組合千歳営農センター TEL：23-5600

農業委員会事務局管理課企画振興係 TEL：24-0799

### ★事務局組織図

農業委員会事務局は、改正農地法の施行に伴う事務局体制の拡充を図るため、平成 23 年 5 月から職員 1 名が増員され、事務局長を含め 6 名体制となりました。



# 家族経営協定の効果とは？

「家族経営協定」は、農業経営において家族一人ひとりの役割・責任、収益の分配、労働時間などを明確にし、それぞれの意欲と能力を十分に発揮して経営を行っていくための約束ごとです。

協定を結ぶことの主な効果は、次の点が考えられます。

- ① 農業経営と生活の目標を家族全員が確かめることができる
- ② 農業経営、家事作業等の役割分担や就業条件が明確になり、農業に取り組む意欲が高まる
- ③ 家族一人ひとりの考えや行動を大切にし、個々の能力を十分に発揮させる
- ④ 家事、育児なども女性農業者の労働として、適正に評価できる
- ⑤ 若手、女性農業者が経営に参画することで、新たな販路や6次産業化などの経営の多角化につながる
- ⑥ 認定農業者の共同申請や農業者年金の保険料の国庫助成、農業改良資金等の貸付に関する制度上のメリットがある

平成23年10月現在、千歳市内では、26家族が家族経営協定を締結しています。

一度、協定を締結した後も、年1回程度は家族の状況や経営の状況に応じて協定書の見直しを行いましょう。また、見直しした協定書は、農業委員会に提出していただきますようお願いいたします。



## 【お問合せ先】

石狩農業改良普及センター

TEL：36-8083

農業委員会事務局管理課企画振興係

TEL：24-0799

## 農業委員会委員選挙人名簿登載申請について

今年度、選挙人名簿に登録されている方に対して、12月下旬に農業委員会委員選挙人名簿登載申請書を送付しますので、記載上の注意をご覧のうえ、平成24年1月10日(必着)までに事務局へ提出してください。

また、農業に従事されている方で、お手元に申請書が届いていない場合は、農業委員会事務局にお問合せください。(選挙資格、農地面積、耕作に従事する日数などの要件があります)

なお、**選挙人名簿の縦覧は平成24年2月23日から3月8日までの15日間のみ**となっており、その後は縦覧することができませんので、縦覧を希望される方は、期間内に選挙管理委員会でご確認ください。

【お問合せ先】農業委員会事務局管理課企画振興係 TEL：24-0799

選挙管理委員会事務局選挙課 TEL：24-0794

# 全国農業新聞の購読について

全国農業新聞は、農業者の公的代表機関である農業委員会系統組織が発行する週刊総合専門紙です。

- 1 充実した農政解説とコンパクトなニュース
- 2 「担い手」の経営改善に役立ちます
- 3 地域づくりのヒント・事例がいっぱい
- 4 食や健康など暮らしに関する話題が豊富
- 5 購読料は月額 600 円（年間 7,200 円）と負担が少ない



※ 全国農業新聞の見本紙の試読や申込み手続きなど、詳しくは農業委員会事務局にお気軽にお問合せください。

## 【お問合せ先】

管理課企画振興係 TEL: 24-0799

## ★ 編集後記

- ◎ 今年も春先の低温で農作業が遅れ、秋には台風が次々と上陸し、自然の力に対する人間の無力さを感じる年でした。石狩管内は比較的被害が少なかったようですが、全国的には、大きな爪あとを残しました。
- ◎ 今年最大の災害といえば、やはり東日本大震災。身内の方が被災された方も、そうでない方も、いろいろなことについて、考えさせられる機会になったのではないのでしょうか。このような状況をふまえ、今回の「大地」では、エネルギー資源について特集を組みました。
- ◎ 戸別所得補償制度の本格実施や TPP 交渉への参加など、国政の大きなうねりのなか、農業者も消費者も安心して暮らせる社会になって欲しいですね。



表紙の写真は、9月末に市内長都の農業委員であり、水稻を栽培する平岡さんの田で撮影しました。ほぼ、刈取り作業は終了していましたが、刈取り前の田は、稲穂が頭を垂れ、まさに豊穰の秋という風情。

今年の水稲は生育がよく、北海道農政事務所によると、作況指数は105で「やや良」となりました。

市内では、水稻の作付面積が年々減ってきているなか、皆さん、こだわりのお米を大切に育てています。地元で取れた美味しいお米を食べて、寒い冬を乗り切りたいものです。

・本紙は市ホームページでもご覧いただけます。(千歳市→市の組織と仕事→市役所の組織→農業委員会)

■ この千歳市農業委員会だよりは再生紙と大豆インキを使用しています。